

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 37 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 7 年 11 月

長浜商工会議所

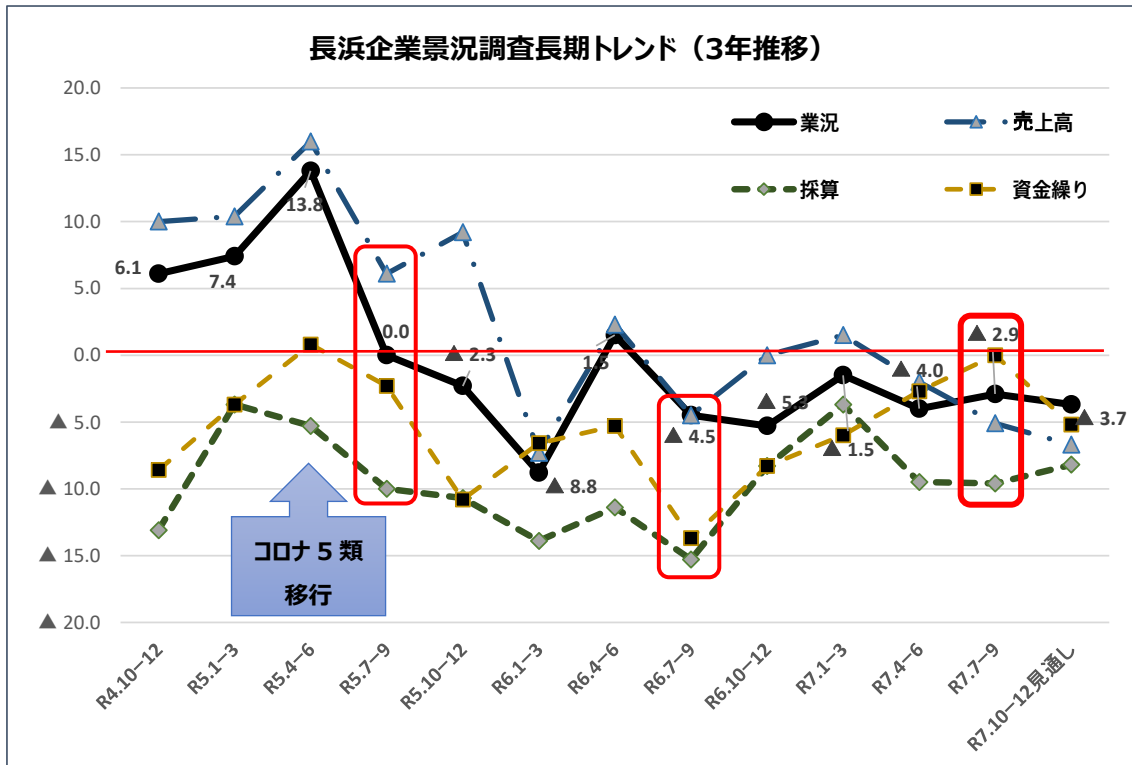
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査：各種DIの長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査：業況・売上高・採算・採算の水準DIの推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（（株）しがぎん経済文化センター編）	5
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	7
3. 近畿の景況	
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）	8
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	8
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	9
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	11

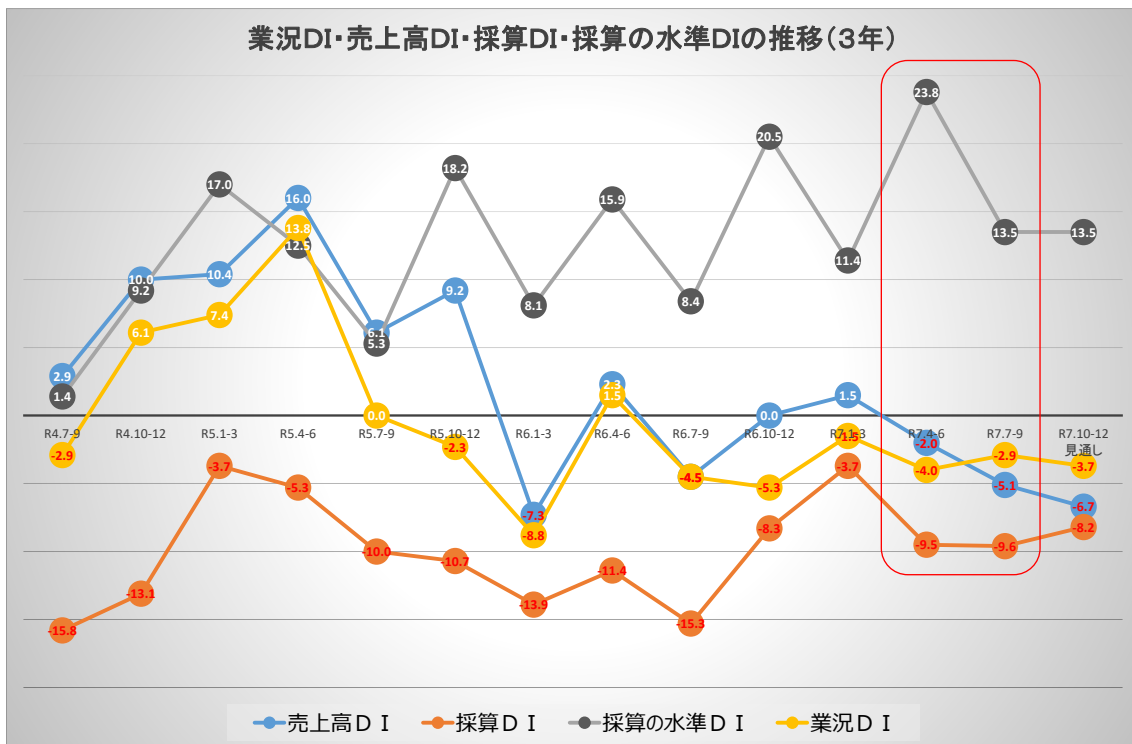
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



(2) 長浜企業景況調査…業況DI・売上高DI・採算DI・採算の水準DIの推移(3年)



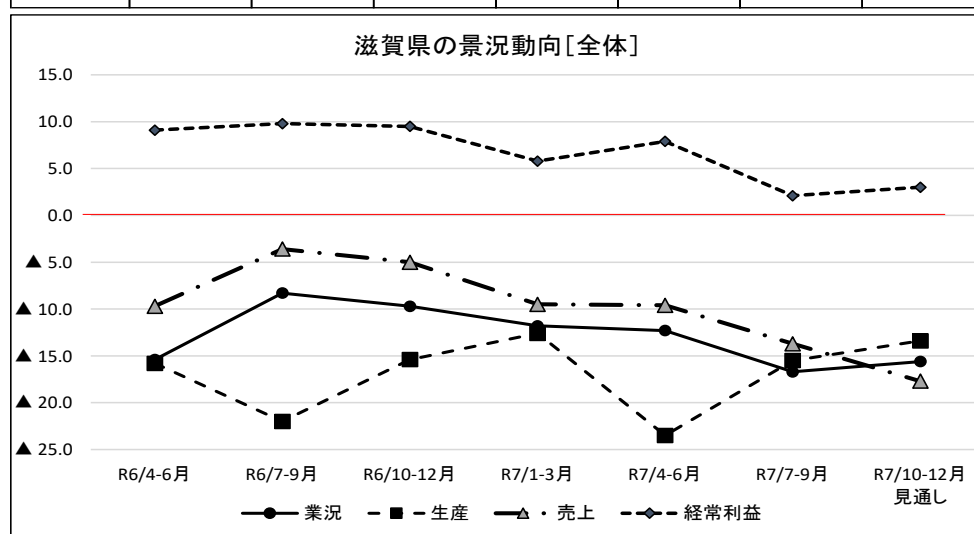
2. 滋賀県の景況

(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

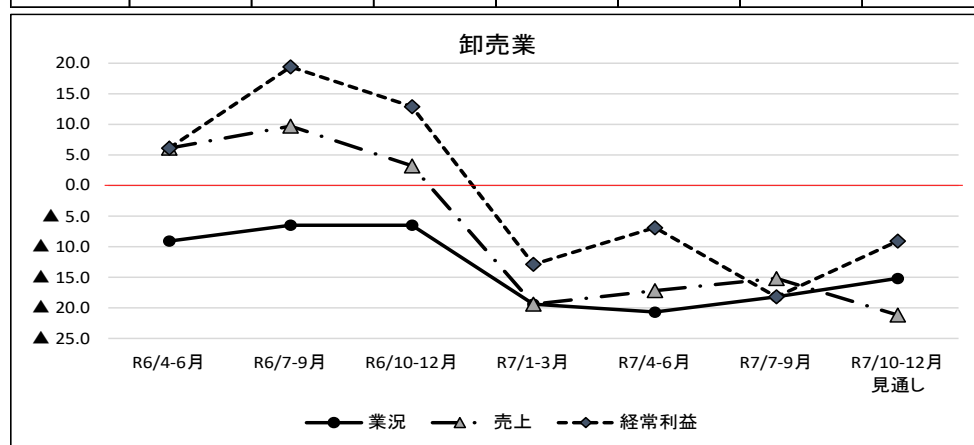
① 滋賀県の業種別景況動向（表中の傾向欄…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。）

（R7/7-9月実績、R7/10-12月見通し）〔前年同期比較〕

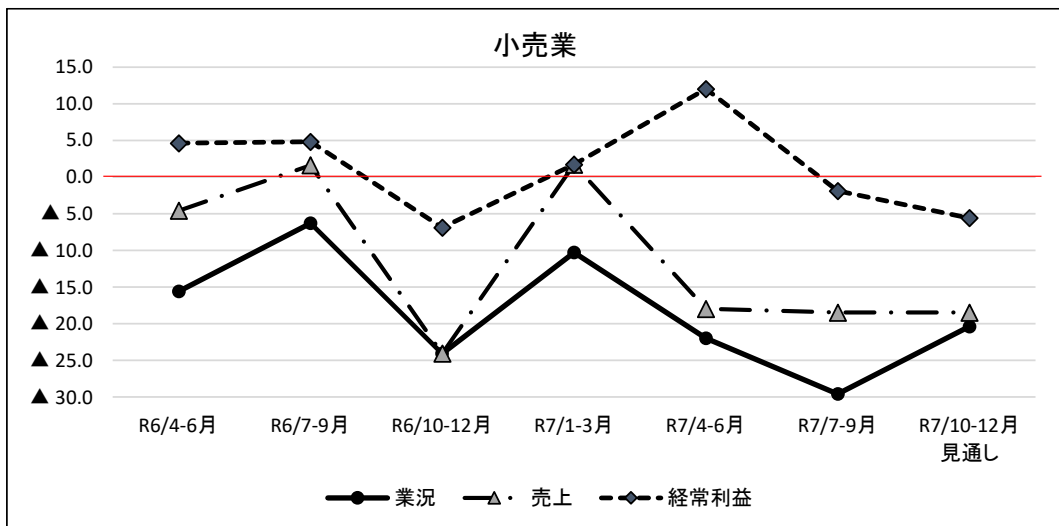
全体	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月 見通し
業況	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 12.3	▲ 16.7	▲ 15.6
生産	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 15.5	▲ 13.4
売上	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 13.7	▲ 17.7
経常利益	9.1	9.8	9.5	5.8	7.9	2.1	3.0
雇用の水準	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 39.4	▲ 37.5	▲ 36.7	▲ 36.9	▲ 37.5
傾向	×	●	×	×	×	×	●



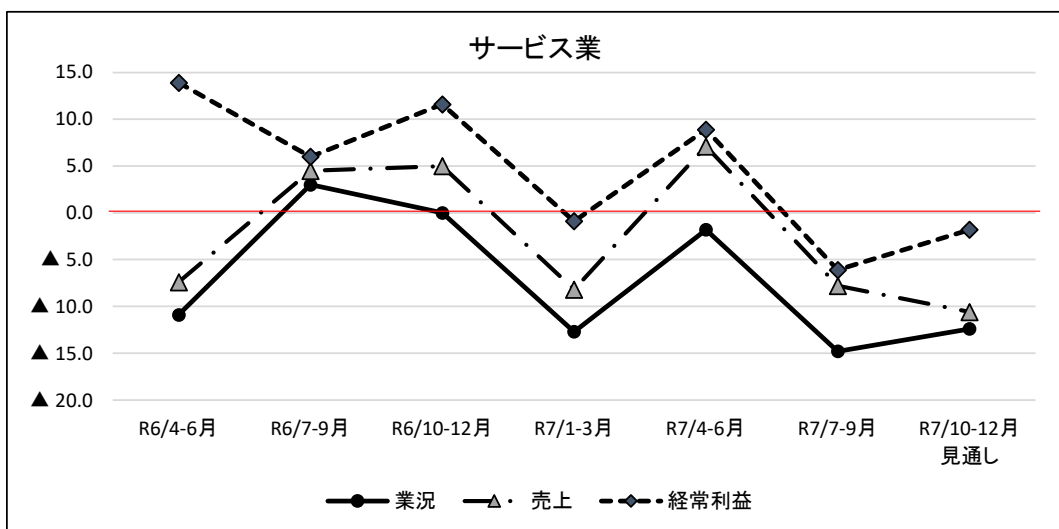
卸売業	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月 見通し
業況	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 19.4	▲ 20.7	▲ 18.2	▲ 15.2
売上	6.1	9.7	3.2	▲ 19.4	▲ 17.2	▲ 15.2	▲ 21.2
経常利益	6.1	19.4	12.9	▲ 12.9	▲ 6.9	▲ 18.2	▲ 9.1
資金繰り	▲ 18.2	0.0	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 20.7	▲ 8.8	▲ 11.8
傾向	●	●	▲	×	×	●	●



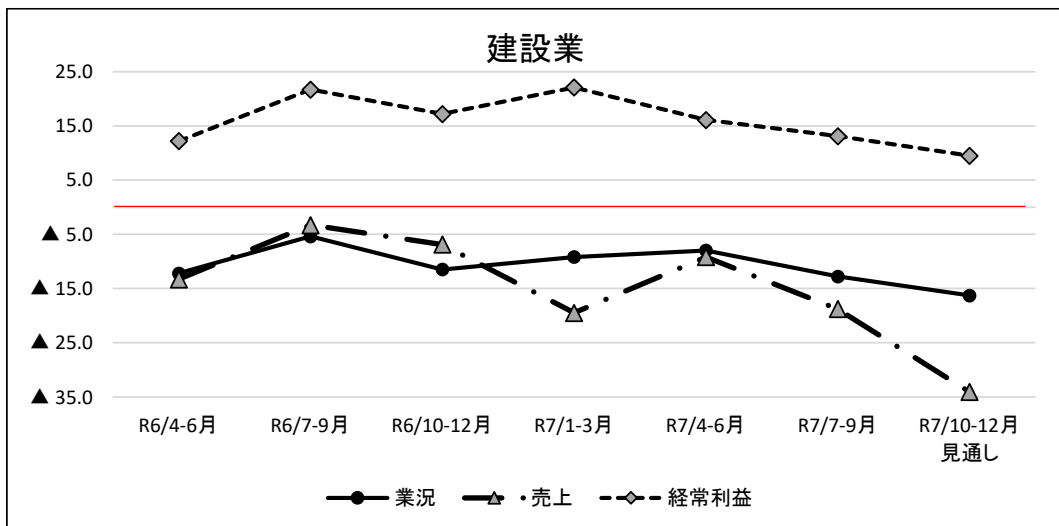
小売業	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月 見通し
業況	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 24.1	▲ 10.3	▲ 22.0	▲ 29.6	▲ 20.4
売上	▲ 4.6	1.6	▲ 24.1	1.7	▲ 18.0	▲ 18.5	▲ 18.5
経常利益	4.6	4.8	▲ 6.9	1.7	12.0	▲ 1.9	▲ 5.6
資金繰り	▲ 9.2	▲ 15.9	▲ 24.1	▲ 5.3	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 16.7
傾向	×	●	×	●	×	×	●



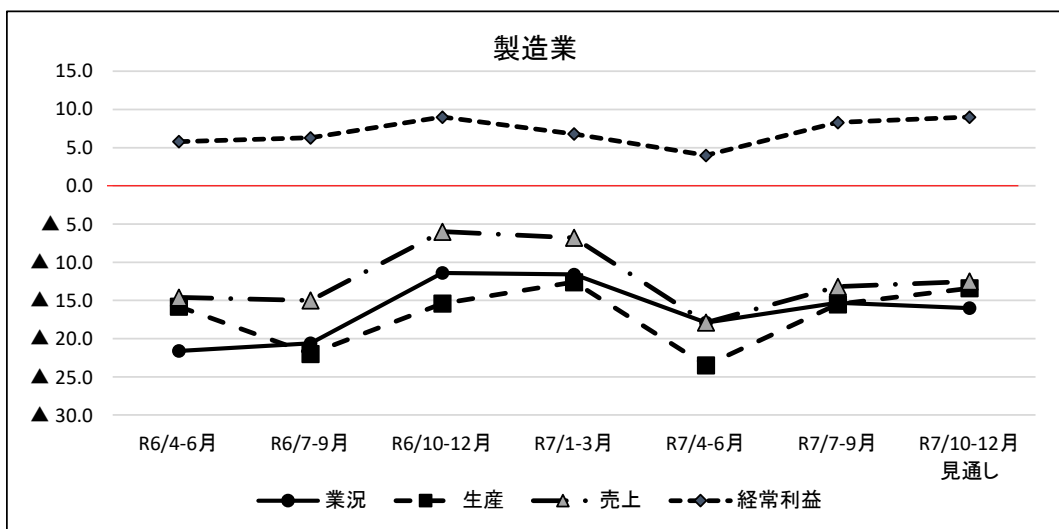
サービス業	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月 見通し
業況	▲ 10.9	3.0	0.0	▲ 12.7	▲ 1.8	▲ 14.8	▲ 12.4
売上	▲ 7.4	4.5	5.0	▲ 8.2	7.1	▲ 7.8	▲ 10.6
経常利益	13.9	6.0	11.6	▲ 0.9	8.9	▲ 6.1	▲ 1.8
資金繰り	▲ 4.4	0.8	▲ 4.2	▲ 8.2	1.8	▲ 13.9	▲ 20.4
傾向	×	●	×	×	●	×	●



建設業	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月 見通し
業況	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 12.8	▲ 16.3
売上	▲ 13.3	▲ 3.3	▲ 6.9	▲ 19.5	▲ 9.2	▲ 18.8	▲ 34.1
経常利益	12.2	21.7	17.2	22.1	16.1	13.1	9.5
資金繰り	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 5.9	1.2
傾向	×	●	×	●	●	×	×



製造業	R6/4-6月	R6/7-9月	R6/10-12月	R7/1-3月	R7/4-6月	R7/7-9月	R7/10-12月 見通し
業況	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 16.0
生産	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 15.5	▲ 13.4
売上	▲ 14.6	▲ 15.0	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 17.9	▲ 13.2	▲ 12.5
経常利益	5.8	6.3	9.0	6.8	4.0	8.3	9.0
資金繰り	▲ 8.2	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 13.6	▲ 14.6	▲ 10.4	▲ 10.4
傾向	×	●	●	×	×	●	×



② 滋賀県の景況調査〔企業から寄せられたコメント〕

滋賀県内企業のコメント（R7/7-9月期）	
業況判断【好転】企業コメント	
・国スポ開催の恩恵もあり、来客数が増加（サービス業）。 ・受注済みの工事が多くあるため今期売上高はある程度の見通しが立っているが、利益や受注の確保に関しては不明点も多い（建設業）。 ・米国関税の影響もあまり感じられず、過去最高の売り上げ更新が継続している（製造業）。	
業況判断【不変】企業コメント	
・仕入れ材料費、労務費共に価格が上がっているため、価格転換できてはいるが利益率が少し落ちている(建設業)。 ・人件費含むコストの急上昇を価格転嫁するのが難しく、多忙ではあるものの利益が出ない見通し（製造業）。 ・仕入単価の上昇で、利益率が下降ぎみとなっている（小売業）。 ・新規採用を希望しているものの、応募が著しく減少している状況から、中途採用にて対応している（建設業）。 ・先行き不安のせいか、好景気が望めないところであるため、積極的な営業努力が必要と考えている（建設業）。	
業況判断【悪化】企業コメント	
・米国関税により先行きが不透明（製造業）。 ・大阪・関西万博の影響により、関西からお越しのお客様が減少した（サービス業）。 ・輸出向け商品の加工依頼が減少した（製造業）。 ・エネルギー等の物価高騰により原材料や仕入れコストが高騰し、商品自体が値上がり、購買意欲に繋がらないことにより、売上が低迷している（小売業）。	

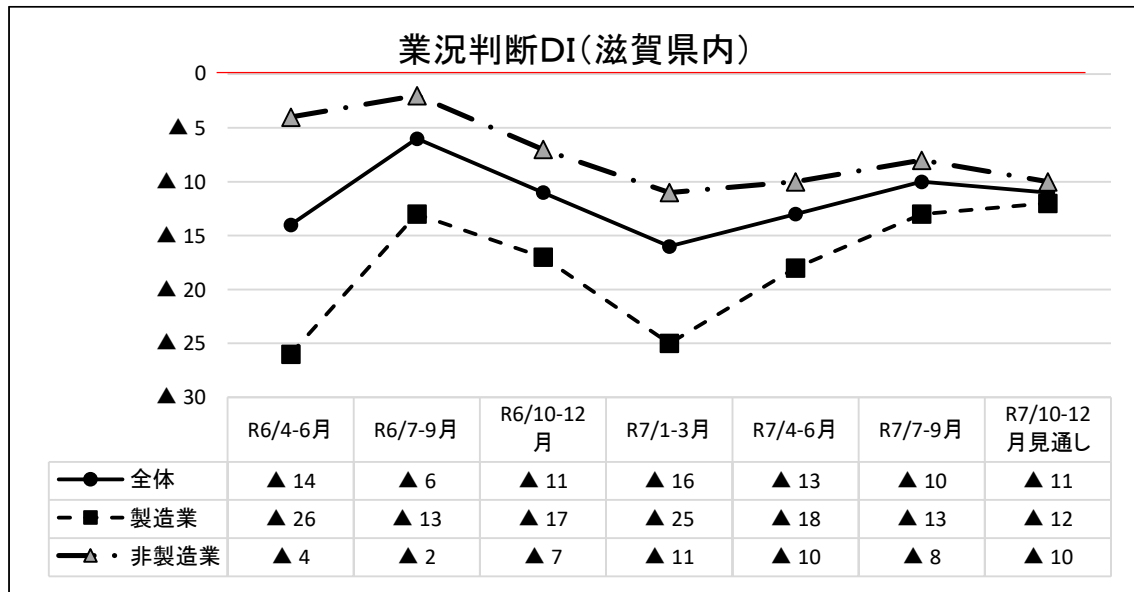
（２） 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」（令和 7 年 7 月－令和 7 年 10 月公表）

R7/6	緩やかに持ち直している
製造業の生産活動は、生産用機械が半年ぶりの高水準となり、汎用・業務用機械なども上昇したため、全体では2か月ぶりに大幅上昇した。需要面では、物価上昇分を考慮した実質個人消費は、このところ弱含みで推移している。投資需要では、住宅投資は減少したが、民間設備投資と公共投資は大幅増加した。よって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているとみられる。	
R7/8	緩やかに持ち直している
製造業の生産活動は、生産用機械と汎用・業務用機械、化学などが上昇したため、全体では2か月ぶりに大幅上昇した。需要面では、物価上昇分を考慮した実質個人消費がこのところ弱含んでいるものの、小売業6業態計の売上高は8か月連続で増加している。投資需要では、公共投資が僅かながら増加したものの、民間設備投資と住宅投資は減少が続いている。よって、県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているとみられる。	
R7/9	持ち直しの動きがやや弱まっている
製造業の生産活動は、大幅に伸びた前月の反動で大幅減少となったが、基調としては一進一退の動きとなっている。需要面では、小売業6業態計の売上高は9か月連続で増加しているものの、物価上昇分を考慮した実質個人消費はこのところ弱含んでいる。また、自動車販売も低調である。投資需要では、民間設備投資と公共投資は比較的堅調に推移しているものの、住宅投資では大幅減少が続いている。よって、県内景気の現状は、持ち直しの動きがやや弱まっているとみられる。	

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R7/7-9 月実績、R7/10-12 月見通し) [前期比較]



景況感は2四半期連続で小幅改善					
	回答社数	R7/4-6月期	R7/7-9月期	傾向	R7/10-12期見通し
製造業	134	▲ 18	▲ 13	●	▲ 12
繊維	7	▲ 33	▲ 71	×	▲ 29
木材・木製品	—	—	—	—	—
紙・パルプ	—	—	—	—	—
化学	5	0	0	▲	▲ 20
石油・石炭	—	—	—	—	—
窯業・土石	9	17	▲ 11	×	11
鉄鋼	4	▲ 50	▲ 75	×	▲ 100
非鉄金属	3	▲ 75	▲ 67	●	▲ 33
食料品	15	14	▲ 13	×	7
金属製品	22	▲ 10	9	●	14
一般機械	8	▲ 22	▲ 13	●	▲ 14
電気機械	9	▲ 17	11	●	▲ 33
輸送用機械	—	—	—	—	—
精密機械	6	▲ 33	▲ 50	×	▲ 50
その他	38	▲ 25	▲ 5	●	▲ 10
非製造業	156	▲ 10	▲ 8	●	▲ 10
建設	47	▲ 9	▲ 2	●	▲ 7
不動産	17	18	0	×	▲ 12
卸売	23	▲ 7	▲ 13	×	▲ 31
小売	17	▲ 33	▲ 24	●	▲ 19
運輸・通信	13	0	15	●	23
電気・ガス	—	—	—	—	—
サービス	29	0	▲ 17	×	▲ 7
リース	—	—	—	—	—
その他	8	▲ 40	▲ 25	●	▲ 14

③ 県内経済概況「県内景気天気図」[変化方向]

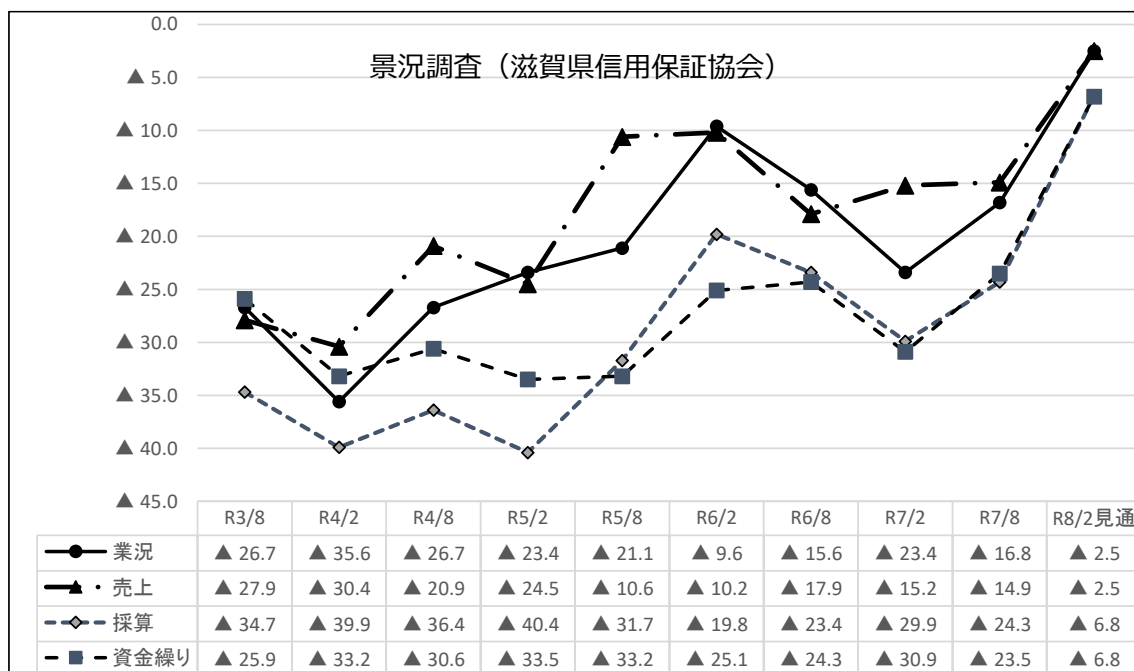
県内景気天気図	R7/3	R7/4	R7/5	R7/6	R7/7	R7/8
景気全体	▲	×	▲	▲	▲	×
生産活動	●	×	●	×	●	×
個人消費	▲	●	▲	▲	▲	▲
民間設備投資	▲	×	●	×	▲	▲
住宅投資	●	×	×	×	×	×
公共投資	●	×	●	×	▲	▲
雇用情勢	▲	▲	▲	▲	●	▲

* 変化方向…前月比、●は上昇・好転、▲は横ばい、×は下降・悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R7/8)

実施内容	調査時期：令和7年8月		調査方法：無記名アンケート方式	
	配布数： 500	回答数： 161	回答率： 32.2%	
業種構成	建設業 28.6%	サービス業 20.5%	製造業 18.6%	
	小売業 12.4%	運輸通信業 3.7%	不動産業 3.1%	
	卸売業 1.2%	その他 11.8%		
従業員規模	5人以下： 62.7%	6～20人： 33.5%	21人以上： 3.1%	



3. 近畿の景況

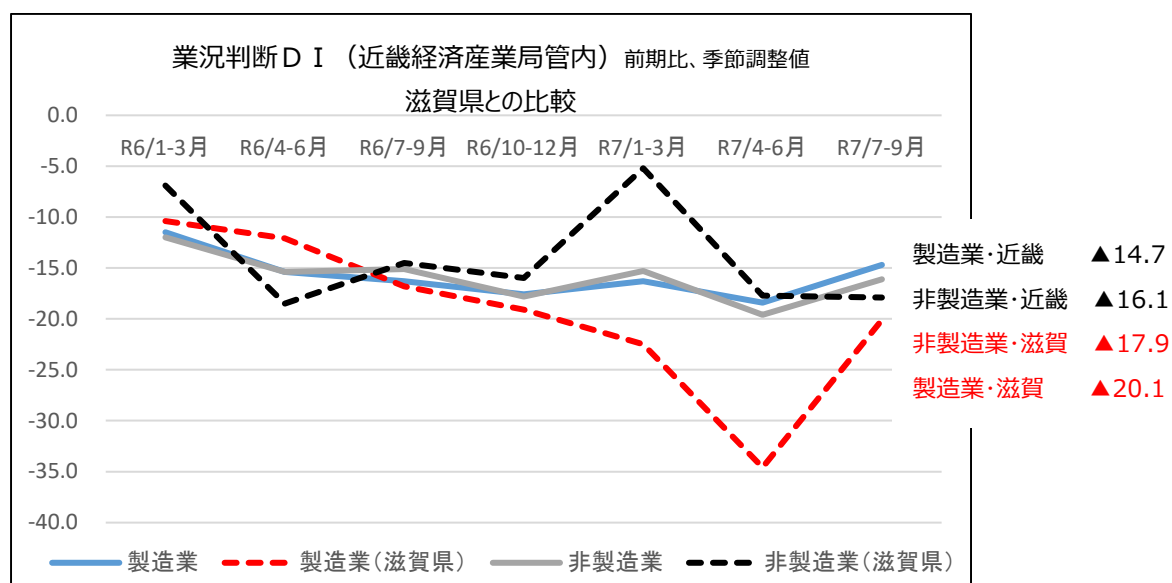
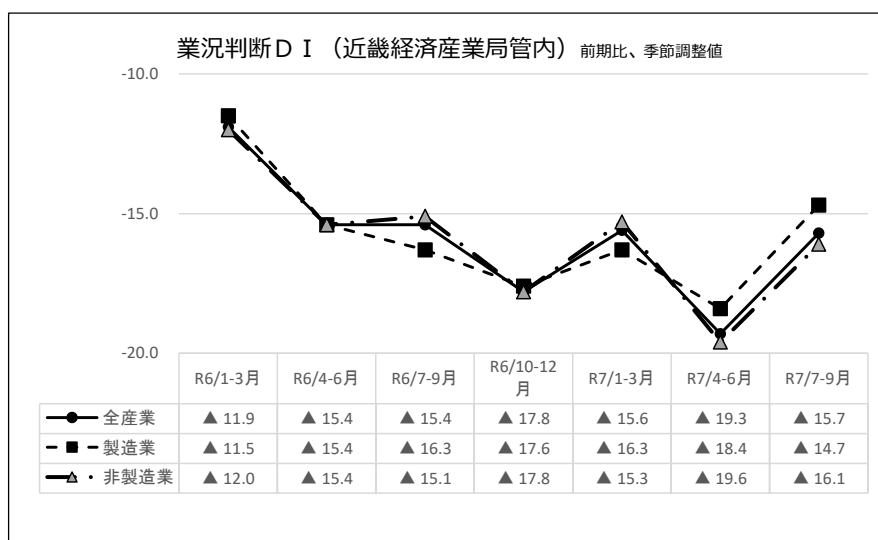
(1) 近畿経済の動向（近畿経済産業局）（2025年8月指標を中心として）

近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産は、弱含みで推移している。個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに改善している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱含みで推移している。貿易は、輸出は前年同月を上回った。雇用は、緩やかに持ち直している。先行きについては、物価上昇の影響、人手不足や賃上げの動向、為替の変動、米中をはじめ海外経済の動向を注視していくことが必要である。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断 DI [前期比較]

① 業種別業況判断 DI



4. 全国の景況

(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

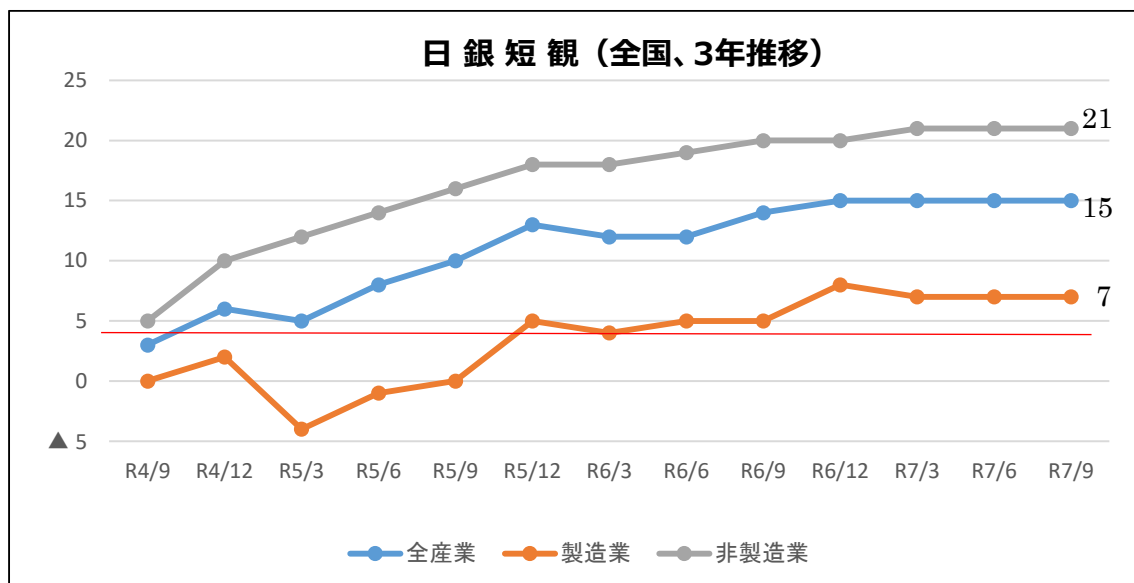
①大企業の業況判断 DI～製造業は改善、非製造業は横ばい

- ・大企業製造業は、日米関税交渉の合意によって過度な警戒感が後退する中、前回調査から1ポイント改善の14となった。改善は2四半期連続となる。素材業種は鉄鋼等の市況に弱さがみられることもあって横ばいにとどまったが、加工業種は内外需要の底堅い電気機械や一般機械類、米国による追加の関税率が当初よりも引き下げられた自動車等を中心に改善した。
- ・大企業非製造業は、前回調査から横ばいの34となった。堅調な企業の設備投資意欲に支えられて建設や物品賃貸、情報サービス等が改善した一方、人手不足感の強まりやインバウンドの増勢鈍化等から宿泊・飲食サービスが悪化したほか、通信や運輸・郵便も悪化し、全体を押し下げた。

② 中小企業の業況判断 DI～製造業は横ばい、非製造業は悪化

- ・中小企業の業況判断 DI は、製造業では前回調査から横ばいの1、非製造業は1ポイント悪化の14となった。トランプ関税の悪影響や人手不足、コスト高、金利上昇等、下押し材料は多いものの、総じて見れば中小企業においても業況感の底堅さを確認できる結果となった。

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2025年10月1日)より)



③設備投資計画

- ・大企業製造業では前年比+16.3%、非製造業では同+10.4%と、いずれも前回調査から上方修正された。日米関税交渉の合意による過度な警戒感の緩和もあり、例年よりもやや大きい上方修正幅となった。
- ・中小企業も前回調査から上方修正された。非製造業については現時点でマイナスの計画となっているが、こちらは今後、例年通り、計画の進捗に伴って上方修正されていくとみられる。

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」(2025年10月1日)より)

設備投資計画 (含む土地投資額)		2024年度(実績)	2025年度(計画)				土地投資額		2024年度(実績)	2025年度(計画)			
		6月調査	3月調査	6月調査	9月調査				6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	
大企業	製造業	7.6	4.8	14.3	16.3	大企業	製造業	13.4	5.5	2.3	12.2		
	非製造業	7.4	2.1	9.9	10.4		非製造業	0.7	-4.5	-4.0	-5.1		
中堅企業	製造業	4.9	11.1	15.7	15.3	中堅企業	製造業	26.3	-61.0	-59.2	-48.0		
	非製造業	8.9	-6.8	-4.2	-0.5		非製造業	28.0	-34.5	-47.7	-35.6		
中小企業	製造業	9.5	0.2	1.6	3.4	中小企業	製造業	-14.0	-24.3	-62.4	-42.6		
	非製造業	7.0	-15.0	-9.0	-4.9		非製造業	9.9	-50.2	-41.9	-18.1		

* 除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

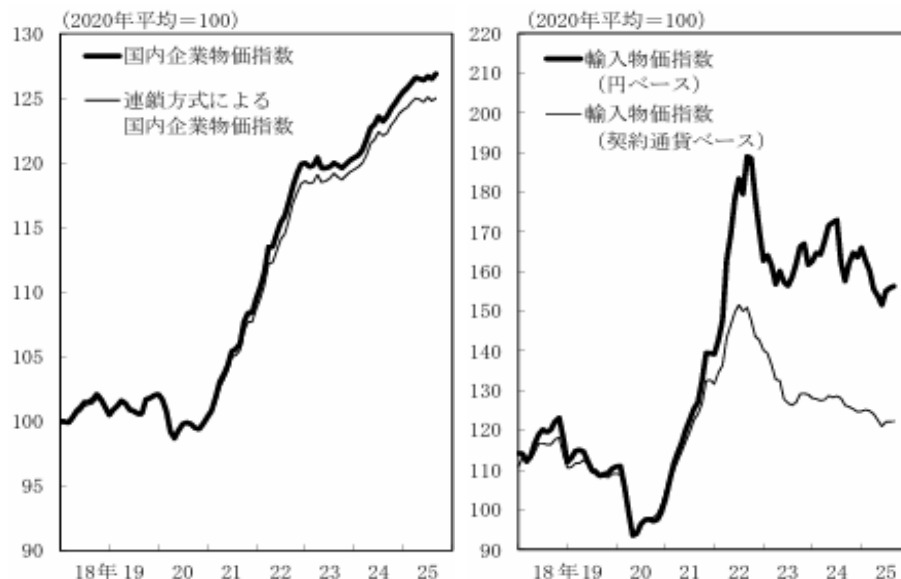
ソフトウェア投資額		2024年度(実績)	2025年度(計画)				研究開発投資額		2024年度(実績)	2025年度(計画)			
		6月調査	3月調査	6月調査	9月調査				6月調査	3月調査	6月調査	9月調査	
大企業	製造業	8.5	1.4	8.2	10.1	大企業	製造業	5.7	1.6	4.1	4.8		
	非製造業	7.6	2.4	11.4	11.1		非製造業	5.1	2.8	9.0	9.4		
中堅企業	製造業	3.1	17.3	34.6	28.1	中堅企業	製造業	5.3	2.9	5.8	5.4		
	非製造業	-7.1	5.4	11.0	10.2		非製造業	18.1	6.3	3.1	9.3		
中小企業	製造業	0.3	24.9	40.2	42.8	中小企業	製造業	3.3	-0.2	2.2	2.3		
	非製造業	-8.5	10.7	15.1	22.9		非製造業	10.9	9.4	10.5	-5.6		

④企業物価指数および企業向けサービス価格指数 (2025年9月速報)

国内企業物価指数は126.9、前年比2.7%上昇した。コメや飲食料品価格が高止まりしており、前年比の伸び率は4カ月連続で2%台で推移している。

輸入物価指数(円ベース)は156.3で、前年比マイナス0.8%と8カ月連続で低下した。

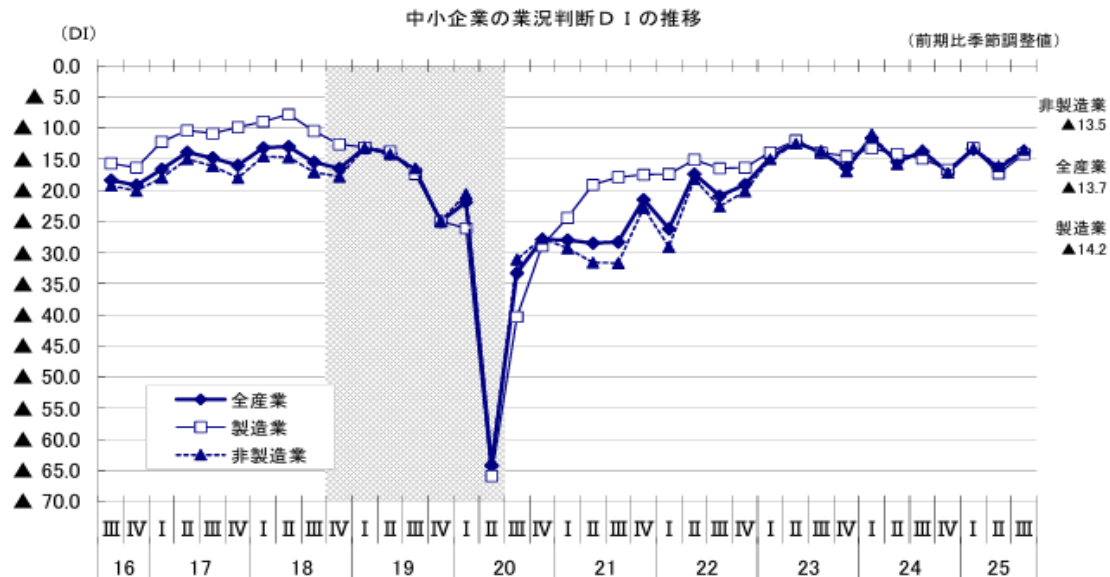
企業向けサービス価格指数は111.3、前年比3.0%上昇した。4カ月ぶりに3%台の高水準になった。人件費の高騰をサービス価格に反映する動きが続いている他、大阪・関西万博による「宿泊サービス」や「旅行サービス」の貸し切りバスが高かった。



(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）「全国」[前期比較]

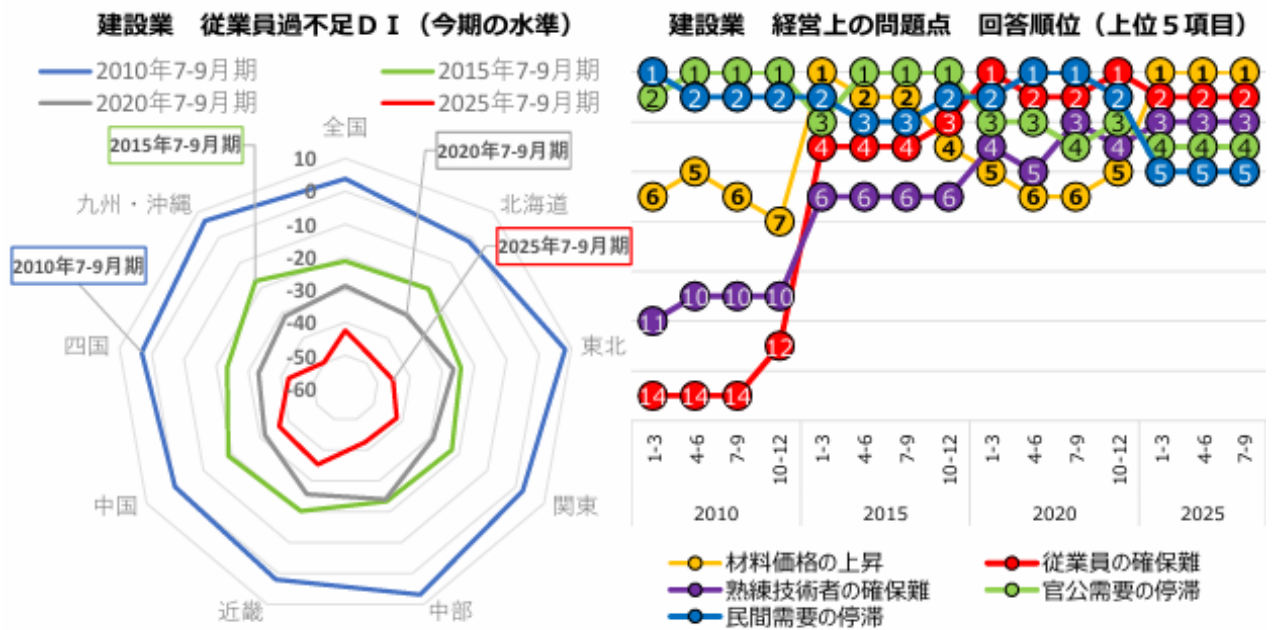
①業種別業況判断DI

全産業の業況判断DIは▲13.7（前期差2.8ポイント増）となり、2期ぶりにマイナス幅が縮小した。製造業は▲14.2（同3.1ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小、非製造業は▲13.5（同2.6ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。



②トピックス：建設業の人手不足が強い

建設業の「従業員過不足DI（今期の水準）」を2010年以降の7-9月期で5年ごとに見ると、すべての地域において人手不足感が強まっている。また、経営上の問題点を見ると、従業員の確保難が上昇しており、直近では材料価格の上昇に次ぐ2位となっている。



（中小企業診断士 川副 郷一郎）